

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 24 年 9 月 20 日 (2012.9.20)

【公開番号】特開 2011-37355 (P2011-37355A)

【公開日】平成 23 年 2 月 24 日 (2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報 2011-008

【出願番号】特願 2009-185674 (P2009-185674)

【国際特許分類】

B 6 2 K 19/38 (2006.01)

B 6 2 K 25/20 (2006.01)

B 6 2 J 11/00 (2006.01)

B 6 2 K 11/00 (2006.01)

B 6 0 T 8/34 (2006.01)

B 6 2 L 3/00 (2006.01)

B 6 2 L 3/08 (2006.01)

【 F I 】

B 6 2 K 19/38

B 6 2 K 25/20

B 6 2 J 11/00 G

B 6 2 K 11/00 Z

B 6 0 T 8/34

B 6 2 L 3/00 A

B 6 2 L 3/08

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 8 月 8 日 (2012.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

図 2 に示すように、ブレーキ装置 80 は、バーハンドルに取付けられた操作部材としてのブレーキレバー 81 と、このブレーキレバー 81 の操作によってブレーキ液圧を発生させるレバー側マスタシリンダ 82 と、前述のブレーキペダル 57 と、このブレーキペダル 57 の操作によりブレーキ液圧を発生させるマスタシリンダとしてのペダル側マスタシリンダ 84 と、これらのレバー側マスタシリンダ 82、ペダル側マスタシリンダ 84 にそれぞれ入力用配管としての配管 86、87 で接続されたモジュレータ 42 と、このモジュレータ 42 に出力用配管としての配管 91 ~ 96 で接続された制動装置としての前輪ディスクブレーキ 101、101 と、モジュレータ 42 に配管 103 ~ 105 で接続された後輪ディスクブレーキ 43 と、出力用配管としての配管 103 の途中にブレーキ液圧を調整するために設けられた連動ブレーキ制御ユニットを構成するプレッシャコントロールバルブ 106 (以下では単に「PCV 106」と記す。)と、一方の前輪ディスクブレーキ 101 及びモジュレータ 42 のそれぞれを接続する出力用配管としての配管 107 の途中に、ブレーキペダル 57 を操作したときに後輪ディスクブレーキ 43 を作動させるブレーキ液の液圧を前輪ディスクブレーキ 101 へも分配するとともに前輪ディスクブレーキ 101 側へのブレーキ液圧の供給を後輪ディスクブレーキ 43 側より遅らせるために設けられたディレイバルブ (DV) 108 と、前輪 111 の回転速度 (即ち、車輪速度である。)を検出する前輪車輪速センサ 113 と、後輪 37 の回転速度を検出する後輪車輪速センサ 1

１６と、上記の前輪車輪速センサ １１３、後輪車輪速センサ １１６からの信号に基づいてモジュレータ ４２を制御する制御装置 １１８とからなる。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００４６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００４６】

支持ブラケット １５１は、平面視コ字形状の上部コ字部材 １７１と、この上部コ字部材 １７１の前部に取付けられた前側締結部 １７２と、上部コ字部材 １７１の左端部に取付けられた左側締結部 １７３と、上部コ字部材 １７１の右端部に取付けられた右側締結部 １７４と、この右側締結部 １７４の中間部に前方へ延びるように取付けられた前方延出部材 １７６と、右側締結部 １７４における前方延出部材 １７６の上方に取付けられた小ブラケット片 １７７とからなる。